



希望あふれる**未来**へ ～第79回 卒業証書授与式～

本日、第79回卒業証書授与式を厳かに挙行し、39名の卒業生が新たなステージへと歩み出しました。3年間の中学校生活の中で、仲間と支え合い、困難に向き合い、喜びや悔しさを繰り返しながら、心豊かでたくましく成長した姿を、多くの笑顔と涙に包まれ、温かい拍手の中で見送ることができました。

式辞では、卒業生に向けて、「VUCA(ブーカ)の時代※」を生きるための三つのヒントを贈りました。

①「まずやってみる」**勇気**をもつこと

完璧でなくていい。正解かどうか分からなくてもいい。行動することでしか見えてこない景色があります。

②「人とつながる」**こと**を大切にすること

困ったときに支えてくれるのは“人”。仲間や家族、先生、これから出会う人たちと力を合わせることで、未来を切り拓く大きな力になります。

③「自分の物差し」**をもつ**こと

自分と誰かを比べる必要はない。自分が何を大切に、どう生きたいか。その“軸”をもつことで、迷い過ぎずに進むことができます。

これら三つは、3年間で身につけてきた力でもあります。自身の成長を信じ、今日からの道を自分の手で切り拓いていってくれることを期待しています。そして、その姿をこれからも応援し続けます。

※ VUCA の時代とは、**変動性**(Volatility)、**不確実性**(Uncertainty)、**複雑性**(Complexity)、**曖昧性**(Ambiguity)の頭文字を取った造語で、「**予測が困難な時代**」を指しています。

今日という日をご自身の「**卒業の日**」に ～3年生保護者の皆様へ～

お子様のご卒業、誠にありがとうございます。我が子を初めて抱いたときのぬくもり、小さな手が指をギュッと握り返してくれた瞬間、初めて歩いた・話した・笑った日の喜び。一方、思うようにいかず涙した日、熱が下がらず眠れなかった夜……。子育てとは、喜びと心配が交互に押し寄せる「揺れる時間」の連続です。その積み重ねが、今日のお子様の姿につながっているのだと思います。どうか今日という日を、保護者の皆様ご自身の「卒業の日」としても受け止めていただければ幸いです。これまでの歩みに誇りをもち、これからもお子様の心の支えとなって寄り添っていかれますよう切に願っております。

最後になりますが、この3年間、本校教育活動に対し、温かいご理解とご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。「ありがとうございました。」

校長室より ～親愛なる卒業生へ～

校長として初めて送り出す卒業生が皆さんです。皆さんと過ごした一年は、私にとってとても素敵な時間、大切な宝物となりました。学校行事で1・2年生をリードする姿は本当に頼もしく、「3年生の理想の姿」「チーム山代」を体現してくれました。体育大会・修学旅行・文化発表会での輝く姿が鮮明によみがえります。また、「校長」として皆さんに育ててもらいながら、私自身も成長できたことに感謝しています。「本当にありがとう！」

最後に……皆さんがこれから歩む道は、誰かが用意した道ではありません。3年間で培った「挑戦」「つながり」「自分の軸」をもとに、自らの手で切り拓いていく道です。自分のペースで、少しずつ、そして確実に前へ進んでください。

皆さんの歩く空が良い天気であることを心から祈っています♪「卒業おめでとう！さようなら！」(^^)/